

おかげ様で200冊突破！その一部をご紹介します。

書籍の森

おすすめ書籍紹介

マネジメントと支援プログラム「子育て支援NPO活動ハンドブック」

自分の娘とその幼い友達を殺害したという秋田連続児童殺人に象徴されるように、最近子供が巻き込まれる犯罪が増加していますよね。特に松阪市周辺でも幼児虐待事件があったり変質者が出たりと、お父さんがいる家庭では対岸の火事ではありません。この稿を書いている私も一応二児の親なので、ときどき子供の登下校が遅くなったりすると「まさか！うちの子！」などと必要以上に過敏に反応してしまいます。今の子育ての環境はひと昔前とは、まったく異なる環境

におかれているのかもしれませんが。「書籍の森」寄贈本の中に「子育て支援NPO活動ハンドブック」という本冊子があります。子育て支援を行うNPO法人や市民活動団体の組織運営と支援活動の充実のために必要な情報がまとめられています。現実的に子育て支援活動する人はこういう情報がほしいんだろうなあ。興味のある方は、ぜひご一読を。 書籍の森 担当/井川



登録団体のみなさまへ

センターからのお知らせ



◎貸出し備品が使いやすく便利に

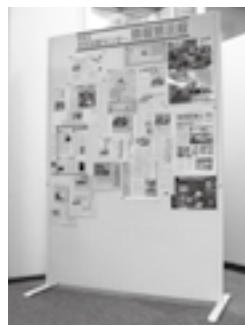
センター貸出し備品であるプロジェクター、DVD、マイクなどを、更に便利に使っていただけるよう、全ての配線をつなぎ、キャスター付きワゴンに乗せました。すでにご利用いただいた団体の皆様には「配線の手間がなくなり便利になった」「移動が楽になった」とご好評いただいております。使い勝手の良くなった貸出し備品を是非ご利用ください。



この人はこんなに喜んでいますが、実際には使われるのは登録団体さんです。念のため…

◎センター情報掲示板リニューアル

センターがちニュース(掲示板)が更に見やすく、綺麗になりました。名称も「市民活動センター情報掲示板」としてリニューアル。センター発信の情報を随時アップいたします。この掲示板の他にボランティア募集等、受信者と発信者に分かれてご利用いただける「アンテナ掲示板(仮称)」も現在製作中です。掲示板完成の際には是非ご利用ください。



市民が創る市民活動の情報紙ーアロマ

AROMA

次回発行は10月上旬です。

募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mailかFAXにて送付してください。次回の原稿締切は2006年9月24日(日)です。 担当/澤 北西

松阪市市民活動センター

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 開館 月曜～土曜日/10:00～22:00

TEL 0598-26-0108 0598-25-3801 (予約専用) FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

| | | | |
|-----|--|-----|--|
| 会議室 | 大会議室……机 10 椅子 30 (400円) | 機材等 | 印刷機(紙持込) / コピー機 |
| | 小会議室 1…机 4 椅子 12 (200円) | | マイク/プロジェクター 他 |
| | 小会議室 2…机 6 椅子 18 (200円) | | 会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。 |
| | 小会議室 3…机 4 椅子 12 (200円) | | 利用申込 申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。 |
| 利用 | 料金は1時間。大会議室の組み合わせ可。 外会議室……机 8 椅子 24 (300円) | | |



交通 駐車



▼ 松阪市市民活動センターホームページ <http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/>
▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報) <http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/>
▼ 市民活動情報サイト(携帯版) <http://genki365.net/gnkm/i/>
※ドメイン指定受信を設定されている方は「ma.genki365.net」を受信できるように指定してください。



市民が創る市民活動の情報紙ーアロマ

AROMA

A Resident Of Matsusaka Activity

No.6

発行…松阪市市民活動センター

目次

ちょっと気になる団体さん「山・川特集」……1

事業報告「鈴の音市でセンターPR」……2

まち・人・文化 生まれる交流 ……3

NPO川柳 ……3,4

「書籍の森」関連 ……4

センターからのお知らせ ……4

自然と共に

松阪山岳会/松阪山岳会 FMC

「最近の山はゴミも少なく綺麗に見えますが、普段見えないような所にゴミを捨てる人も少なくありません」と実情を話していただいたのは松阪山岳会/松阪山岳会FMC(ファミリーマウントクラス)の両会長を勤める水谷潔さん。「山登りでは知識や装備も大事ですが、一番大切なのはモラルですね」と語る。ゴミを捨てないことはもちろん、人に迷惑をかけることが重要。「山での遭難者の約70%は未組織登山者なんです。どこにも属さず、少ない登山経験で無理をしようとするケースが多い。遭難して多くの人に迷惑をかけるのは良くない。自分で登った山は自分の足で降りる。言葉で言うのは簡単ですがとても大切なことです」豊富な知識と経験から出る説得力のある言葉である。この会は山を『征服』するのではなく『登らせていただく』という意識を忘れず、常に自然環境に気を配りスポーツとしての登山を楽しんでいる。月の初めには当センターで道具の使い方など、より実践的な勉強会を行ない、後世育成にも役立っている。普段からの清掃活動は元より、毎年6月の環境月間には地元松阪の堀坂山清掃登山を行なうなど精力的に活動をしている。堀坂山は堀坂大権現などを祀る信仰深い山。山頂までの道のりは修験行者のための参道でもある。水谷さんにとって幼い頃から慣れ親しんだこの山は今でも登山訓練に欠かせない大切な山。昔に比べ多くの登山者が訪れ、登山道には草が生えなくなり、そこに雨水が流れ込み道の形も大きく変化したという。地形の変化により危険性の増した登山道をそのままには出来ないと、市に登山補修計画書を提出し、地元自治会と連携するようアドバイスを受け、補修工事が実現した。参道であることを念頭に置き、景観を損なうことなく自然の水はけを利用した補修工事である。丸太や杭を地面に埋めて固定し、雨水の流れる方向を変えるこの補修は決して容易なことではない。しかし「清掃登山ができるパワーがあるなら補修もできるはず」と皆が力を合わせ成し得ることが出来た。日頃から自然と向き合うことでこそ気付く環境の変化。山を愛する気持ちがあってこそ叶った大業である。堀坂山に登るときは足下の丸太にも目を向けてもらいたい。



「山登りでは知識や装備も大事ですが、一番大切なのはモラルですね」と語る。ゴミを捨てないことはもちろん、人に迷惑をかけることが重要。「山での遭難者の約70%は未組織登山者なんです。どこにも属さず、少ない登山経験で無理をしようとするケースが多い。遭難して多くの人に迷惑をかけるのは良くない。自分で登った山は自分の足で降りる。言葉で言うのは簡単ですがとても大切なことです」豊富な知識と経験から出る説得力のある言葉である。この会は山を『征服』するのではなく『登らせていただく』という意識を忘れず、常に自然環境に気を配りスポーツとしての登山を楽しんでいる。月の初めには当センターで道具の使い方など、より実践的な勉強会を行ない、後世育成にも役立っている。普段からの清掃活動は元より、毎年6月の環境月間には地元松阪の堀坂山清掃登山を行なうなど精力的に活動をしている。堀坂山は堀坂大権現などを祀る信仰深い山。山頂までの道のりは修験行者のための参道でもある。水谷さんにとって幼い頃から慣れ親しんだこの山は今でも登山訓練に欠かせない大切な山。昔に比べ多くの登山者が訪れ、登山道には草が生えなくなり、そこに雨水が流れ込み道の形も大きく変化したという。地形の変化により危険性の増した登山道をそのままには出来ないと、市に登山補修計画書を提出し、地元自治会と連携するようアドバイスを受け、補修工事が実現した。参道であることを念頭に置き、景観を損なうことなく自然の水はけを利用した補修工事である。丸太や杭を地面に埋めて固定し、雨水の流れる方向を変えるこの補修は決して容易なことではない。しかし「清掃登山ができるパワーがあるなら補修もできるはず」と皆が力を合わせ成し得ることが出来た。日頃から自然と向き合うことでこそ気付く環境の変化。山を愛する気持ちがあってこそ叶った大業である。堀坂山に登るときは足下の丸太にも目を向けてもらいたい。

ちょっと気になる

団体

山・川

特集

まだまだ残暑厳しい毎日が続いています。今回のAROMAは避暑地としても身近な「山」と「川」にまつわる2団体を紹介します。自然をテーマに取材した結果、場所は異なるものの、身近な自然環境は地道な清掃活動で守られているという意外な共通点を見つけたことができました。

阪内川中央保勝会

美しい街には清らかな川が流れ、水辺で佇む人の姿を見ることが出来る。この信念のもと設立された阪内川中央保勝会の歴史は長い。昭和57年8月1日の台風で阪内川が氾濫し9名の尊い命が奪われたことを基に、市、県、国の助成事業として185億円をかけた阪内川の大改修工事が着工する。これと同時期に当時の市長である吉田逸郎氏の想いを受け、この会は設立され現在も活動を続けている。「実はこれ以前にも阪内川保勝会という会があったんですが、実際はあまり活発に活動されてなかったんです。子供の頃によく遊んだこの川をいつまでも綺麗に保ちたいという気持ちは自然と生まれました」と話してくださったのは阪内川中央保勝会会長の丸橋宗蔵さん。会の発足当初は特に積極的にイベントや事業を展開し、地域住民との連携を図った。しかし、高度成長期に流された生活排水や産業排水のため事業の継続は断念せざるを得なかったという。「見た目は綺麗でも、さすがに子供たちが遊ぶには衛生的に不安でしたからね。イベント時間内は産業排水を流さないように頼みにいったもんです。時代の流れだから仕方ないとはいえ、やはり辛いことです」と当時を振り返る。事業終了後も川への想いは変わらず、環境美化や地域発展のために努めてきた。当時から地元自治会と連携し、阪内川中央部は今も絶えずゴミのない綺麗な状態に保たれている。丸橋さんは冗談交じりに「私が今も目を光らせているから、誰もゴミは捨てられないですよ」と笑いながら川を案内してくれた。「我々の活動が認められたのか、今では地元住民だけでなく他の地域の人でもマナーが良くなってきている。犬の散歩もフンの処理はちゃんとしてくれますし、他の団体主催のイベントがあっても終了後はゴミ一つ残ってませんからね」と、笑みを浮かべる。「今では弱った鯉をこの川に放流すれば3日も



経たずに元気に泳ぎ回ります。それくらい綺麗に保たれているんですよ」と厳しくも優しい目で川面を眺める。実際に川の両岸にある遊歩道にゴミはなく、活き活きと泳ぐ鯉の姿が見えた。この川は環境は今も地道に続けられる美化活動によって保たれている。



経たずに元気に泳ぎ回ります。それくらい綺麗に保たれているんですよ」と厳しくも優しい目で川面を眺める。実際に川の両岸にある遊歩道にゴミはなく、活き活きと泳ぐ鯉の姿が見えた。この川は環境は今も地道に続けられる美化活動によって保たれている。

セタまつり・鈴の音市でセンターPRとアンケート実施

8月5日(土)に松阪まちなか街づくりネットワーク/松阪セタまつり実行委員会主催の「セタまつり・鈴の音市」が開催されました。今年で6回目を迎えるこの新しいお祭りもすっかり定着し、昨年を上回る2万7千人の来場者で賑わいました。市民でつくる松阪の楽市楽座がコンセプトで、街は緩やかな時間と、どこか懐かしい雰囲気に包まれます。そんな中、当センターもカリヨンプラザ前にブースを構え、アンケートと甲子園出場を果たした三重高校への応援メッセージ受付などを実施しました。今回、高校生ボランティアスタッフを受け入れて行ったセンターPRは、スタッフ全員が浴衣や甚平といった和装で統一し、見た目にも涼げ。アンケートが、応援メッセージにご協力いただいた方には、センター特製「なぞかけうちわ」をプレゼントするというおまけ付きで、このうちわも好評でした。アンケートのひとつ「センターをさらに多くの方に活用していただきたいと考えております。どのような取り組みをされるとよいでしょうか? (複数回答可)」では「楽しいイベントを実施する」に7割以上の回答がありました。他にも「ボランティアを求め



ボランティア初体験の中津さん。「身体が暑くて人と話すのが少し怖かったけど、イベントが楽しかった」とのこと。浴衣でデモ/時と加えてくれた。暑い中イベントを堪能しました。



もう一つのテントでは昔懐かしい射的も実施。子供連れの大人気で行列もできました。

る人と行なう人の橋渡しを行なう」や、「街の活性化事業の支援も行なう」などに多くの票が集まり、センターに求められる役割の多様さを感じる結果となりました。

これが意外に好評だったなぞかけうちわ。「うちわと掛けて市民活動と深く、その心は...新しい風が生まれるかもかもしれません。」
どうです? ちょっと良いでしょ?

情報発信で
お悩みの皆様へ

ブログでPR効果バツガン

マイクロソフト社の助成により、「ITスキルアップ講座・IT相談会」を市民活動センターで開催いたします。「もっと効果的に情報を発信したい」、「ホームページを作りたいが難しそう」と感じている市民活動団体の皆様を対象に、ブログについての講座を実施します。実際にすぐ使用できる専用ブログの作り方から使用方法のポイントまで細かく知ることができます。また講座の終了後にはITにまつわる相談会も実施します。

- 日 時: 9月20日(水) 昼の部15:00~ 夜の部19:00~
- 会 場: 松阪市市民活動センター 大会議室
- 講 師: 市民フォーラム21・NPOセンター スタッフ
- 参加費: 1,000円(資料代として)
- 申込方法: お電話でお申込下さい。
- TEL 0598-26-0108 (市民活動センター 担当/米山)
- 締 切: 定員になり次第、締切です。

人気の高い講座です。お早めにお申込ください。

あなたのまちの 市民活動リポーター大募集!

あなたもAROMAに
記事を書いてみませんか?

例えば、あなたのまちで活躍されている団体さんに突撃取材! 熱い想いを語っていただいたり、活動内容1日体験なども面白いのでは? 他にも現在の市民活動を支える先駆者としての立場からアドバイスや想いなど綴っていただければ、今後の市民活動に良い刺激になるのではないのでしょうか? 【お問い合わせはメールにて】 katsudou@ma.mctv.ne.jp 担当/澤

※作品の著作権並びに作品に発生するすべての権利は松阪市市民活動センターに帰属するものといたします。
※応募多数の場合はすべて掲載できない場合があります。
※応募多数の場合はすべて掲載できない場合があります。

センター長の独り言

センターを安心して利用いただくために、良いルールづくりを心掛けています。すべてに関して「公平」であることを大事にしていきたいと思っています。



名鉄不動産が発行する季刊誌「せきれい」は東海4県の歴史ある町の特集と、住まいの快適性を考える読み物で構成された情報誌です。5月、この編集室から「センターのホームページで知った団体の代表に取材をしたい」との電話がかかってきました。後日、センター内で取材を受けた「魚町あとの会」代表の加藤さんは、ウインクしながら「松阪の宣伝をたくさんしたよ。名古屋の人(編集者)が松阪をどんなコースで案内するか興味ない?」と言って帰られました。そんな交流から生まれたのが写真の夏季号、特集は「松阪城下」です。町を愛するナビゲーターの思いが伝わったのでしょうか。見慣れた町並みや歴史・伝統・人がオールカラーの美しい写真と共に、一歩踏み込んだ魅力を見せています。「せきれい」はこちらからご覧になれます。

- ▶ <http://sekirei.net/>
- センターのホームページからは、こんな出会いも生まれています。是非ご覧ください。
- ▶ <http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/>

市民活動センターには、多くの市民活動団体がジャンルの枠を超えて登録しています。開設後2歳と数ヶ月たった今、センターを介しての様々な交流が見えてきました。登録団体の自主的な企画運営による街や他団体との交流、取材協力などをご紹介します。

まち・人・文化 生まれる交流



▲多岐な希望の園の団体のメンバーによるハンドベルの演奏。近隣の商店街の店舗なども見に来ています。



▲奥のハンガーラックは、新町商店街の「藤本テラー」さんが貸してくださったものです。

「2006希望の園新作Tシャツ発表会」は、夏本番をひかえた6月にアピールショップ内での実施。多岐な希望の園のアーティストによるハンドベル演奏でスタートし、いつもより営業時間をぐっと延長しました。イベント前後に取材いただいた新聞各社や近隣の店舗からの協力もあり、夜には仕事帰りのお客さんが立ち寄り、色とりどりのTシャツで飾られた店内は大変な賑わいでした。

また、食も文化もご当地モノが元気な昨年、7月に行なわれた「民謡北から南から」はそのタイトルどおり、地域色豊かに演奏者と観客が一緒に歌ったり踊ったりの交流が生まれました。このイベントは「エイサーまつりか「八部衆」が以前から暖めていた企画です。アピールショップの中で実施することによりジャンルの異なる出店団体が、それぞれ告知に協力したため、日頃「民謡」に縁のない人や、「商店街」や「市民活動センター」に来ない人も訪れる良い機会となりました。



▲近隣店舗の「ゆずか」さん、「みなとや」さんから「賑やかになっていいですね」と応援のメッセージをいただきました。



「民謡北から南から」の様子。出演者全員と観客とで、三重の代表的民謡「尾節節」を唄いました。



▲「エイサーまつりか「八部衆」の演奏に踊りながら踊る観客のみさん。最後まで楽しんでもらえたようです。

第1回 NPO川柳

前回から始まりましたこの企画。思った以上に様々な作品が寄せられています。それでは「第1回NPO川柳」はじまりませう。

NPO
『利益はダメ』と誤解され

ガンバレNPO応援さん
そうそう。けっこう皆さん誤解されてるんですよ。

もっともっと
老若男女
ボランティア

匿名希望さん
これからもっと輪が広がるといいですね。団塊の世代にも。

学生の
参加がもっと
あればなあ

ボランティア大好き男さん
日頃の部活やバイトだけじゃなく是非とも参加してほしい。

よさこいは
まちとみんなを
しあわせに

よさこい雨男さん
よさこいのパワーはすごい。個人的には今村組とが好きです。

公募して
集まり悪く
汗タラリ

イヘン太郎さん
裏方さんの気苦労が察しします。締切間際の巻き返しに期待ですね。

NPO川柳
引き続き募集中

NPO、ボランティア、市民活動にまつわる出来事や想いをユーモアたっぷりに表現した作品を引き続き公募します。

【対象者】
「NPO」、「ボランティア」、「市民活動」に関する川柳を自由に

【募集内容】
どなたでも応募できます。(NPO関係者以外の方も大歓迎)

【応募方法】
メールで送信ください。

【宛 先】
katsudou@ma.mctv.ne.jp

【締 切】
平成18年9月24日 必着

【発 表】
次号の「AROMA」と市民活動センターホームページにて

【宛 先】
katsudou@ma.mctv.ne.jp

負けじと副センター長も独り言

Don't put the cart before the horse. "馬の前に荷車をつなぐな" 「何をすればスムーズにいくか」自問自答の毎日です。